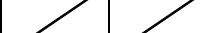
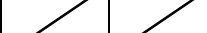
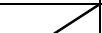
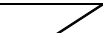
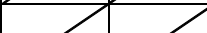
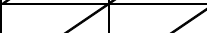


第2期 佐野市まち・ひと・しごと創生総合戦略 基本目標評価シート

令和7年7月23日実施 佐野市まち・ひと・しごと創生懇談会委員意見反映版

令和7年8月18日（月）
佐野市まち・ひと・しごと創生本部

※達成状況 ◎:R5年度の達成状況が100%以上 ○:R5年度の達成状況が50%以上、100%未満 △:R5年度の達成状況が50%未満

基本目標 1	数値目標		基準値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度(最終年)		達成状況	達成度(%)
					実績値		実績値		実績値		実績値	目標値	実績値		
支え 安 定 し た 人 材 を と て つ く か り す、	従業者数 (事業所単位)(人) (出典＝RESAS)		54,618 (H28年)					54,287 (R3年)			55,000 (R4年)	54,287 (R3年)			
	一人あたりの市民所得(年間・千円) (出典＝栃木県市町村民経済計算(栃木県統計課調べ))		3,086 (H28年度)		3,203 (H29年度)		3,203 (H30年度)		3,150 (R元年度)		2,923 (R2年度)	3,301 (R3年度)	3,088 (R3年度)		
	具体的施策	KPI(重要業績評価指標)	基準値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		達成状況	達成度(%)
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
	地域での多様な働き方 やしごとづくりを応援する 体制の強化	創業件数 (単年・本社市内) (市民税課調べ)	96 (H30年度)	101	114	106	98	111	166	116	102	120	93	○	77.5
	地域資源を活かした競争 力のある地域産業の 振興	製造品出荷額等 (千万円・年間) (出典＝RESAS)	3,875億3千万円 (H29年)	3,914億円 (H30年)	4,162億8千万円 (H30年)	3,953億1千万円 (R1年)	4,078億6千万円 (R1年)	3,992億7千万円 (R2年)	4,327億7千万円 (R2年)	4,032億6千万円 (R3年)	4,528億7千万円 (R3)	4,072億9千万円 (R4年)	4,879億1千万円 (R5)	◎	119.8
		有形固定資産投資総額 (千万円・年間) (出典＝工業統計調査)	226億6千万円 (H29年)	230億2千万円 (H30年)	152億6千万円 (H30年)	233億9千万円 (R1年)	170億5千万円 (R1年)	237億6千万円 (R2年)	173億3千万円 (R2年)	241億4千万円 (R3年)	106億3千万円 (R3年)	245億3千万円 (R4年)	151億9千万円 (R4年)	○	61.9
	都市型農業の推進と農 業の成長産業化	農業産出額(推計) (千万円・年間) (出典＝RESAS)	53億7千万 円 (H29)	54億2千万円 (H30)	53億9千万円 (H30)	54億7千万円 (R1)	47億7千万円 (R1)	55億2千万円 (R2)	46億7千万円 (R2)	55億7千万円 (R3)	40億3千万円 (R3)	56億2千万円 (R4)	41億9千万円 (R4)	○	74.6
		農業生産関連事業の実施割合 (出典＝RESAS)	19.53% (H27)	—	24.3% (R2速報値)	—	25.3% (R2値)	—	25.3% (R2値)	23% (R2)	25.3% (R2値)	23% (R2)	25.3% (R2値)	◎	110.0
	高等学校・大学等におけ る地域で活躍する新た な人材の育成	本事業に参加した生徒・学生数(人・単年)	—	20	42	40	43	60	72	80	67	100	55	○	55.0
事業 評価	□ 地方創生に非常に効果的であった		例:全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合											評価 委員 数	0
	□ 地方創生に相当程度効果があった		例:一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合												8
	□ 地方創生に効果があった		例:KPI達成状況は芳しくなかったものの、取組が前進・改善したとみなせる場合												5
	□ 地方創生に対して効果がなかった		例:KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合												1
委員 意見	【主な意見・内容】 ・創業件数は、累計では目標を上回っている。「創業するなら佐野で！」の推進により創業気運も高まっていると評価できる。 ・製造品出荷額の伸びが大きく貢献している。運営面、資金面での支援によりさらに伸ばせるのではないかと。 ・コロナ禍の影響が残っていると見受けられる事業もあり、全体として「相当効果があった」とまでは言えない。 ・企業誘致では、交通アクセスの良さなどのイニシアチブもある。壬生町や明和町などを参考に取組を検討することも必要と考える。 ・高校・大学などにおける地域で活躍する新たな人材の育成、市事業やイベント等への参加促進、自由に意見を述べられる場所づくりが必要。 今後の地域経済の発展に不可欠な人材育成に向けて重点的な取組を期待したい。 ・農業分野では、デジタルの導入比率をあげることで顕在化されている課題(担い手不足など)を少しでも改善することが可能と考える。 県北エリアなどは農業法人でドローンなどを積極的に導入し活用している。														

※達成状況 ◎:R5年度の達成状況が100%以上 ○:R5年度の達成状況が50%以上、100%未満 △:R5年度の達成状況が50%未満

基本目標2	数値目標		基準値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度(最終年)		達成状況	達成度(%)
					実績値		実績値		実績値		実績値	目標値	実績値		
新しい人の流れをつくる	社会動態の人口増減数(累計)(人) (出典＝住民基本台帳のうち職権消除等を除く)		107		398		△98		104		314	600 (R2年～6年度) (累計)	単年 298 累計 1,016		
	滞在人口(平日) (1日当たり平均)(人) (出典＝RESAS)		98,956 (H30年)		98,987		98,384		96,570 (R4年)		96,124 (R5上半期)	100,000 (R5年)	未公表		
	滞在人口(休日) (1日当たり平均)(人) (出典＝RESAS)		107,765 (H30年)		105,967		105,875		104,744 (R3年)		104,896 (R5上半期)	110,000 (R5年)	未公表		
	具体的施策	KPI(重要業績評価指標)	基準値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		達成状況	達成度(%)
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
	「住んでよし、訪れてよし」 佐野市 シティプロモーション	さのまるX(旧：ツイッター)フォロワー数	29,175 (H30年度末)	32,000	34,705	34,000	36,418	36,000	39,017	38,000	40,754	40,000	42,909	◎	107.3
		年間観光入込客数(千人)	8,741 (H30)	9,300	6,474	9,700	6,503	10,000	6,429	10,000	7,133	10,000	7,402	○	74.0
	UIJターンと定住の促進	市外からの移住者数 (転入者へのアンケートで把握できた数)	525人 (H26～H30累計)	150(単年)	115	150(単年)	131	150(単年)	149	150(単年)	193	750 (R2～R6年累計)	単年 146 累計 734	○	97.9
		転入者数 (単年・外国人含む総数、各年1/1～12/31)	3,422 (H30年度)	3,491	3,443 (R1)	3,554	3,373 (R2)	3,619	3,137 (R3)	3,684	3,523 (R4)	3,800	3,511 (R5)	○	92.4
	移住者受け入れ態勢の整備	移住相談件数 (単年・件)	162件 (H30年度)	250	294	270	430	280	481	290	533	300	687	◎	229.0
		空き家バンク提供物件登録数(累計・件)	65件 (H30年度末)	95	112	125	129	155	147	185	166	215	178	○	82.8
	「関係人口」の創出・拡充	ふるさと納税受付数(単年・市外のみ)	1,188 (H30年度)	8,000	6,089	9,000	71,280	10,000	109,085	11,000	170,572	12,000	147,428	◎	1228.6
		「佐藤の会」会員数 (累計・人)	－	3,000	2,605	5,000	4,093	7,000	6,387	9,000	7,608	10,000	8,361	○	83.6
事業評価	□ 地方創生に非常に効果的であった		例：全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合										評価委員数	0	
	□ 地方創生に相当程度効果があった		例：一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合											12	
	□ 地方創生に効果があった		例：KPI達成状況は芳しくなかったものの、取組が前進・改善したとみなせる場合											2	
	□ 地方創生に対して効果がなかった		例：KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとは言い難いような場合											0	
委員意見	【主な意見・内容】 ・外国人転入者の増加に伴い、地域コミュニティや企業内での交流、市民の理解促進に課題。 ・中小企業における外国人雇用のニーズが高まっている。 ・外国人との共生社会づくりに市や関係機関が連携して積極的に取り組む必要がある。 ・移住相談件数は大幅に増加しているが、実際の移住数と乖離があるので分析が必要。移住定住のポテンシャルはあると思う。 ・観光客数がコロナ以前の水準に戻っていない。観光客の人流データを分析する必要がある。佐野らーめん以外の観光の柱が必要ではないか。 ・空き家解消のため、空き家バンクの活用をより一層進める必要がある。														

※達成状況 ◎:R5年度の達成状況が100%以上 ○:R5年度の達成状況が50%以上、100%未満 △:R5年度の達成状況が50%未満

基本目標3	数値目標		基準値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度(最終年)		達成状況	達成度(%)
					実績値		実績値		実績値		実績値	目標値	実績値		
結婚・妊娠・出産・子育ての希望をかなえ、女性が輝く地域社会をつくる	婚姻数(単年) (出典＝栃木県保健年報)		528 (H29年度)		449 (令和元年)		458 (令和2年)		425 (令和3年)		366 (令和4年)	540件 (R5年)	360 (令和5年)		
	合計特殊出生率 (出典＝栃木県保健年報)		1.38 (H29年)		1.33		1.20 (令和2年)		1.26 (令和3年)		1.14 (令和4年)	1.64 (R5年)	1.18 (令和5年)		
	具体的施策	KPI(重要業績評価指標)	戦略策定前	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		達成状況	達成度(%)
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
	結婚・妊娠・出産の支援	出生数(人) 外国人を含む総数	777 (H30年)	793	673	809	684	825	626	841	604	857 (R6年度)	533	○	62.2
		子育てを楽しんでいる市民の割合(%) ※未就学児(出典:市政に関するアンケート調査)	95.0 (H30年度)	95.0	91.1	96.0	95.3	97.0	97.6	97.0	93.7	98.0	94.5	○	96.4
	安心して子育てができる環境づくり	子育てに負担や不安を感じている市民の割合(%) ※未就学児(出典:市政に関するアンケート調査)	65.9 (H30度)	64.0	75.9	63.0	69.4	62.0	78.8	61.0	83.3	60.0	68.5	○	78.8
		保育所待機児童数 (毎年度4月1日現在)	5人 (H30度)	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	◎	100.0
女性が活躍するまちづくり	女性の事業主(人) (個人・法人問わず) (出典:商工会議所調べ)	219 (H30年度)	220	246	225	295	230	349	240	359	270	346	◎	128.1	
	20～39歳の女性の転入者数(人) (単年・外国人含む総数) (出典:住民基本台帳)	862 (H30)	900	771	925	787	950	849	970	795	1,000	826	○	82.6	
事業評価	□ 地方創生に非常に効果的であった		例:全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合											評価委員数	0
	□ 地方創生に相当程度効果があった		例:一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合												8
	□ 地方創生に効果があった		例:KPI達成状況は芳しくなかったものの、取組が前進・改善したとみなせる場合												5
	□ 地方創生に対して効果がなかった		例:KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとはいえないような場合												0
委員意見	【主な意見・内容】 ・女性事業主の増加は評価できる。 ・子育てしながら働ける企業が少なく感じる。女性にとって魅力ある仕事・働きたい場がないことで転出が進んでいるのではないかと。 ・出生数、婚姻数の向上のため、無痛分娩の助成、マッチングアプリの活用、アンコンシャスバイアスの解消に向けた関係機関との連携した取組などに取り組んではどうか。 ・子育て支援では充実した支援に取り組んでいると感じるが、継続した取組、対外的な周知、支援制度の活用促進が重要。 ・性別や未婚、既婚に関わらず多様な生き方ができる社会が実現できると良い。 ・「出生数」と「20～39歳の女性の転入者数」に占める外国人の割合にも注目していかなければならない。														

※達成状況 ◎:R5年度の達成状況が100%以上 ○:R5年度の達成状況が50%以上、100%未満 △:R5年度の達成状況が50%未満

基本目標4	数値目標		基準値	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度(最終年)		達成状況	達成度(%)
					実績値		実績値		実績値		実績値	目標値	実績値		
時代に あつた 地域をつ くり、安 心な暮ら しを守る	これから佐野市に住み続けたいと思う市民の割合(%) ※市政アンケートより		77.8 (H30年度)		80.3		77.7		78.7		76.6	90.0	78.7		
	具体的施策	KPI(重要業績評価指標)	戦略策定前	令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		達成状況	達成度(%)
				目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値	目標値	実績値		
	コンパクト・プラス・ネット ワーク(いもフライ型都 市構造)の推進	生活路線バス利用者数 (年間延べ利用者数)(交通政策課調べ)	142,323 (H30度)	145,158	87,239	147,993	120,156	150,828	155,691	153,663	178,443	156,500	186,386	◎	119.1
		中心市街地における人口割合 (中心市街地の人口／総人口)(住民基本 台帳調べ)	6.12 (H31.1.1)	6.13	5.96	6.14	5.97	6.16	5.99	6.18	5.94	6.20	5.91	○	95.3
	地域とともに誰もがいきい きと活動できる環境づくり	市民活動に参加したことのある市民の割 合(%) (出典:市政に関するアンケート調査)	59.9 (H30年度)	72.0	64.6	73.0	64.1	67.0	67.0	70.0	65.4	72.0	64.2	○	89.2
	国土強靱化の推進	国土強靱化地域計画における成果指標 の達成率	—	70.0	20.0	70.0	34.5	75.0	47.0	75.0	46.9	80.0	46.9	○	58.6
	まちづくり連携体制の推 進	連携協定締結数	9	12	10	15	10	18	13	19	13	20	15	○	75.0
連携事業等による事業本数		—	2	4	3	5	5	11	6	12	8	12	◎	150.0	
持続可能なまちづくりの 推進	総合計画においてSDGsの基本目標を位 置付けた数	0	0	0	15	17	15	17	15	17	15	17	◎	113.3	
	経常収支比率	87.1 (H30年度決算)	90%以下	89.5	90%以下	89.3	90%以下	92.1	90%以下	93.2	90%以下	未公表	—	—	
事業 評価	□ 地方創生に非常に効果的であった		例:全てのKPIが目標値を達成するなど、大いに成果が得られたとみなせる場合											評価 委員 数	0
	□ 地方創生に相当程度効果があった		例:一部のKPIが目標値に達しなかったものの、概ね成果が得られたとみなせる場合												7
	□ 地方創生に効果があった		例:KPI達成状況は芳しくなかったものの、取組が前進・改善したとみなせる場合												7
	□ 地方創生に対して効果がなかった		例:KPIの実績値が開始前よりも悪化した、もしくは取組としても前進・改善したとはいえないような場合												0
委員 意見	【主な意見・内容】 ・「国土強靱化地域計画における成果指標の達成率」、「連携事業等による事業本数」などKPIが成果に結びついているか不明瞭で評価が難しい。 ・国土強靱化計画の内容を具体的な行動に落とし込み、市民が自分たちの生活を守るために何をすべきかを示してはどうか。 ハザードマップの活用状況など ・生活路線バスの利用者数が増加していることは評価できるが、万葉口マンバスと生活路線バスの区別や時刻表が分かりにくい。 ・高齢者やバスを必要としている方々に情報や支援が届くようにわかりやすいバス運行をした方が良い。 ・市民活動参加を増やすため、特典や誇り等のやりがいや喜びを感じられるサポートが必要（ボランティアは無償にあらず）ではないか。														